

# 令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市栄小学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	2四 面ファスナーに関する資料を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	31.2	・平均正答率は都と同じである。 ・思考力・判断力・表現力のうち、A話すこと・聞くことでは、都の平均より3.5ポイント上回っている。（平成30年度・31年度の校内研究（話すこと聞くことの指導を通したカリキュラムマネジメント）の成果であると考えられる。） ・選択式問題では、77.1ポイントとどの内容も概ね正答できている。	・「読むこと」の要約したり情報を活用して書いたりする問題において、無解答率が高く、記述式の問いへの正答が低い。 ・知識・技能、読む能力など、基礎的・基本的な学力の十分な定着を図るとともに、それらを活用できる思考力・判断力・表現力の育成を継続する必要がある。そのために、国語科だけでなく、その他の教科・領域等の学習でも振り返りの時間を十分にとり、目的に応じた文章を書くことに慣れていく必要がある。さらに、「書く力」を強化していくために、新聞記事を要約したり、物語のあらすじを短くまとめたりする活動を学習活動に加えていきたい。
	2三 面ファスナーに関する資料を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	43.1		
	3三(2)オ 「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	45		
	3ニ 西田さんの話を用いて、詳しく書き直す	53.2		
算数・数学	2(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	50.5	・平均正答率は都より2ポイント上回っている。 ・特に、知識・技能を問う問題は、80.8ポイントという結果で、概ね身に付いている。（年4回の東京ベーシックドリルを活用した学力診断テスト（算数）を実施し、前学年の学習及び、当該学年の学習内容全般の理解を確かめ、実態に即した指導や復習を適宜行っているためであると考えられる。	・思考・判断・表現を問う問題の中でも、割合、図形（組み合わせ）の求め方を立式したり、答えを求めたりすることができていない。 ・記述式への無解答率も都に比べ高い。 ・考えの幅を広げたり、自分の考えを論理的に組み立てたりすることができるように、式や図（数直線）、表、グラフなどを用いて説明する活動を増やす必要がある。（話し合い活動に制限がある中、対話方法等の工夫が必要である。）
	4(3) 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	54.1		
	3(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	56.9		